

# 向こう1か月の天候の見通し

## 近畿地方（12月16日～1月15日）

大阪管区気象台

### 予報のポイント

- 寒気の影響を受けやすく、向こう1か月の気温は低いでしょう。特に、期間のはじめは、かなり低くなる可能性があります。
- 太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込みです。

### 1か月の平均気温・降水量・日照時間・降雪量

		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）	降雪量（1か月）
近畿	日本海側	低 50 並 40 高 10% 低い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	予報しません

数値は予想される出現確率です	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）	降雪量（1か月）
	低い確率 50% 以上 平年並 40% 高い確率 50% 以上	少ない確率 50% 以上 平年並 40% 多い確率 50% 以上	少ない確率 50% 以上 平年並 40% 多い確率 50% 以上	少ない確率 50% 以上 平年並 40% 多い確率 50% 以上








### 週別の天候

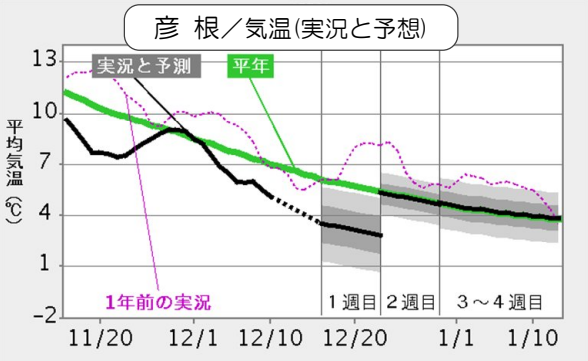
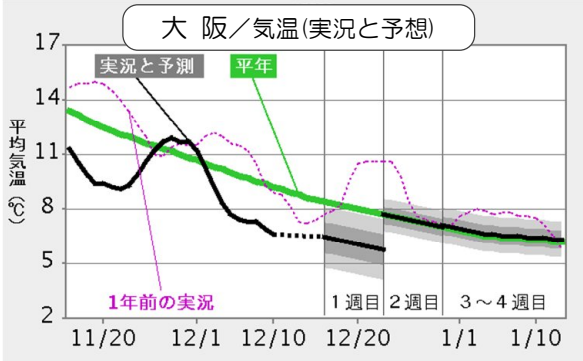
(1 週目) 12/16~22	(2 週目) 12/23~29	(3~4 週目) 12/30~1/12
日本海側では、寒気や気圧の谷の影響で雲が広がりやすく、期間の前半は雪または雨の日が多いでしょう。 太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。	日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 太平洋側では、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。	日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.ima.go.jp/jp/week/>) を参照してください。


季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。  
 確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1週目） 12/16~22	平均気温（2週目） 12/23~29	平均気温（3~4週目） 12/30~1/12
近畿地方	低 80 並 10 高 10% <b>低い</b> 見込み	低 30 並 50 高 20% <b>平年並</b> の見込み	低 30 並 40 高 30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み
 数値は予想される 出現確率です	 平均気温（1週目）	 平均気温（2週目）	 平均気温（3~4週目）
	 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)	 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)	 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)



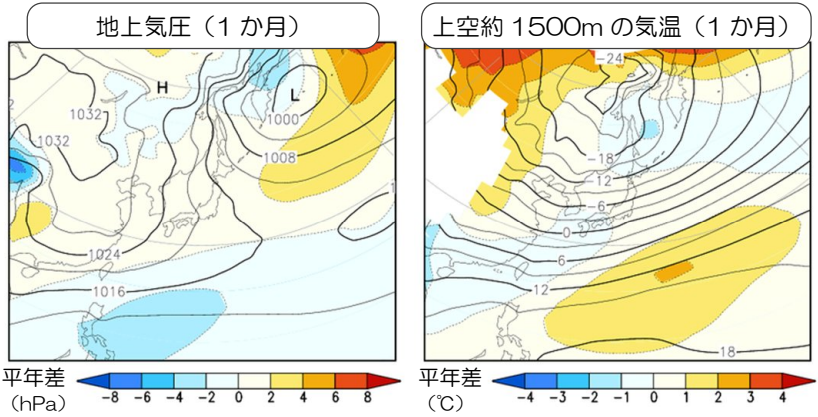
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、  
 気象庁ホームページ  
<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfest/tjikeiretu/index.php>  
 で公開しています。


 予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は7日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）はシベリアから日本付近にかけて高く、シベリア高気圧の日本付近への張り出しが強い予測となっています。

上空約1500mの気温（右図）は、日本付近は全体的に低い予測となっています。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況）

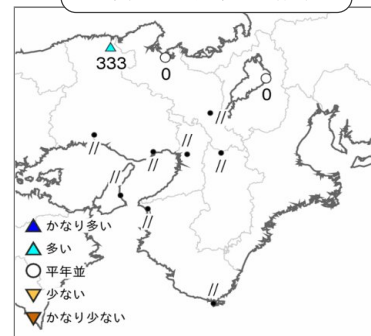
12/7~13

高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、寒気や気圧の谷の影響で、日本海側を中心に曇りや雨または雪の日が多く、日本海側の山地を中心に大雪となった所がありました。

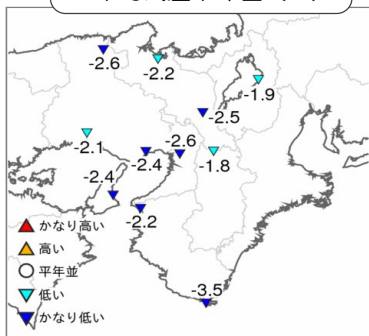
また、この時期としては強い寒気が流れ込んだ影響で、気温が平年に比べかなり低くなりました。

なお、12日から13日にかけては、初雪を観測した所が多くなりました。

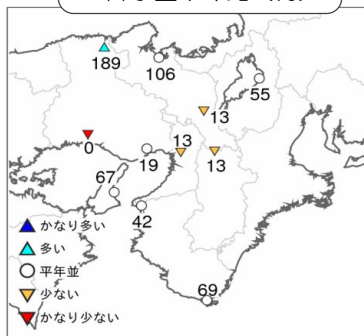
降雪量平年比（%）



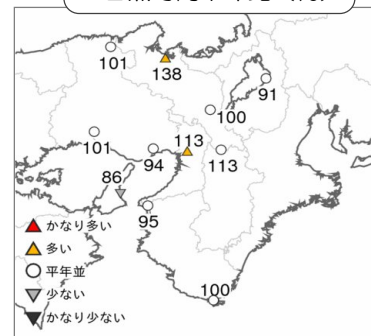
平均気温平年差（℃）



降水量平年比（%）



日照時間平年比（%）



(実況) 12/7~13		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比	降雪量平年比
近畿	日本海側	-2.4℃ (かなり低い)	117% (多い)	110% (平年並)	111% (多い)
	太平洋側		30% (平年並)	100% (平年並)	—

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温（1 か月）	平均気温（1 週目）	平均気温（2 週目）	平均気温（3-4 週目）
近畿地方	平年差：0.0~+0.5℃	平年差：-0.6~+0.7℃	平年差：-0.4~+0.8℃	平年差：-0.4~+0.7℃
彦根	4.8~5.4℃	5.3~6.7℃	4.7~5.9℃	3.9~4.9℃
大阪	7.2~7.7℃	7.7~8.9℃	7.1~8.2℃	6.3~7.2℃

	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）	降雪量（1 か月）
近畿日本海側	平年比：91~108%	平年比：92~106%	平年比：56~106%
近畿太平洋側	平年比：64~113%	平年比：95~106%	—
彦根	72.9~105.3mm	82.7~97.3 時間	9~25cm
大阪	20.3~40.6mm	122.5~139.4 時間	—

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
彦根	10.4 日	11.9 日	2.8 日	2.7 日	2.6 日	2.8 日	5.0 日	6.3 日
大阪	16.9 日	4.7 日	4.3 日	1.2 日	4.3 日	1.1 日	8.3 日	2.4 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並；高い（多い））	解 説
高い（多い）確率が 50%以上	高い（多い）見込み
(20 : 40 : 40)	平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が 50%以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が 50%以上	低い（少ない）見込み